

卒業生アンケート

【対象者】卒業後 10 年目（2015 年度学部卒）：428 名／卒業後 5 年目（2020 年度学部卒） 327 名

【回答者】卒業後 10 年目（2015 年度学部卒）：61 名／卒業後 5 年目（2020 年度学部卒） 41 名

【実施期間】2025 年 8 月 28（木）～9 月 24 日（水）

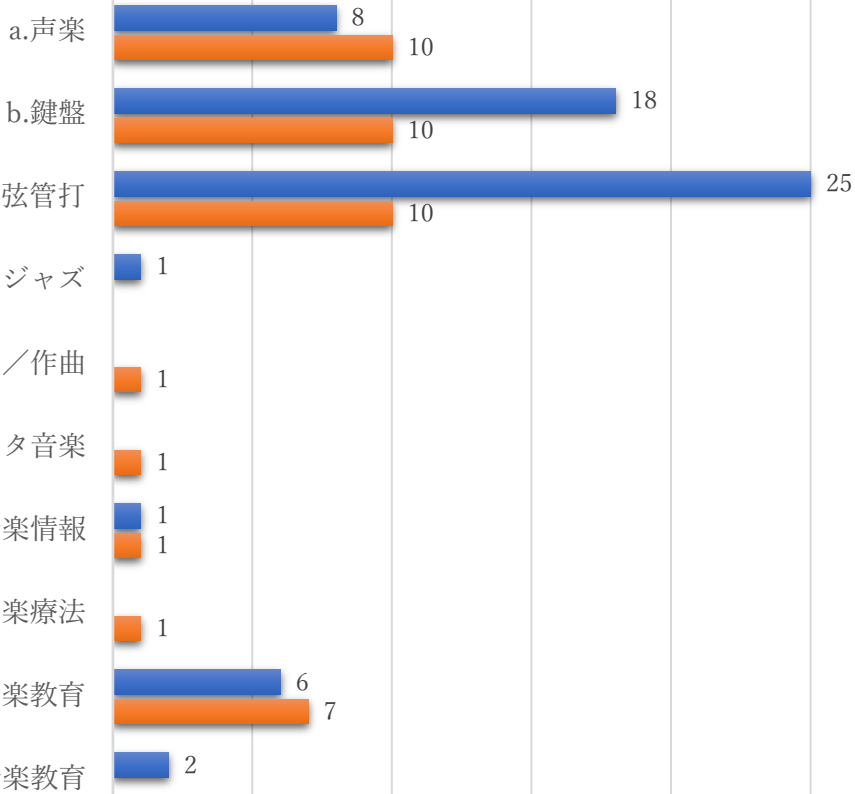
【実施方法】郵送でアンケートを送付し、専用の Web サイトから回答。

1. 【必須】在学時の専攻を選択してください。

Q1:在学時の専攻を選択してください。

■ 2015 ■ 2020

0 5 10 15 20 25 30

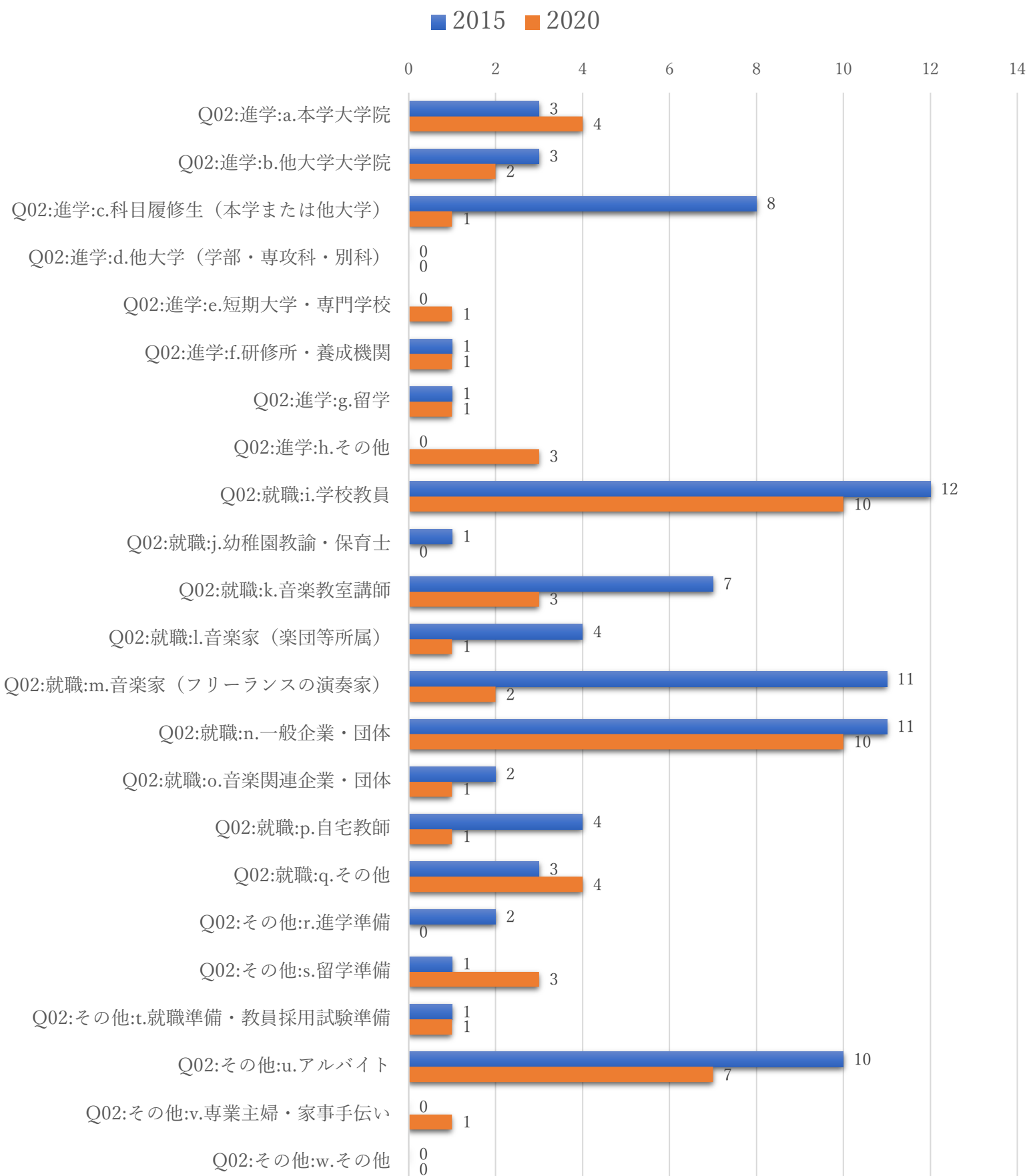


2. 【必須】卒業後1年目の主な進路を選択してください。

(1つに絞り切れない場合は、a~wの中で複数回答可)

Q2. 【必須】卒業後1年目の主な進路を選択してください。

(1つに絞り切れない場合は、a~wの中で複数回答可)

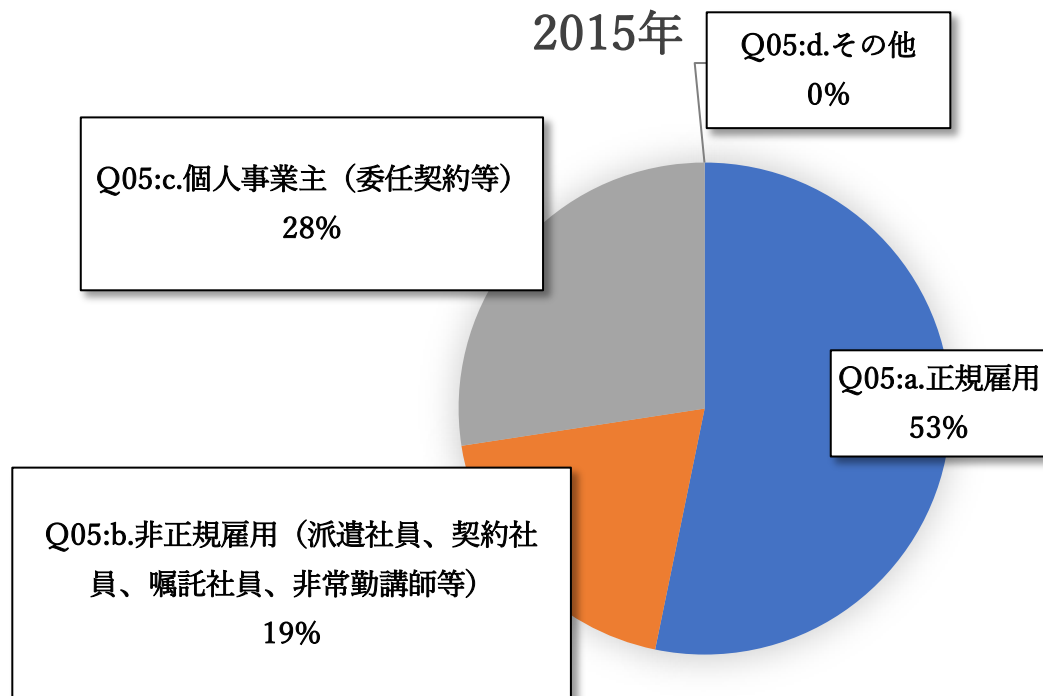


3. 【2で就職（i～q）を選択した方のみ】卒業後1年目の状況として当てはまるものをお知らせください（雇用形態）。（2でi～qを複数回答した場合のみ複数回答可）

【4で就職（i～q）を選択した方のみ】

現在の状況として当てはまるものをお知らせください。
（雇用形態）（4でi～qを複数回答した場合のみ複数回答可）

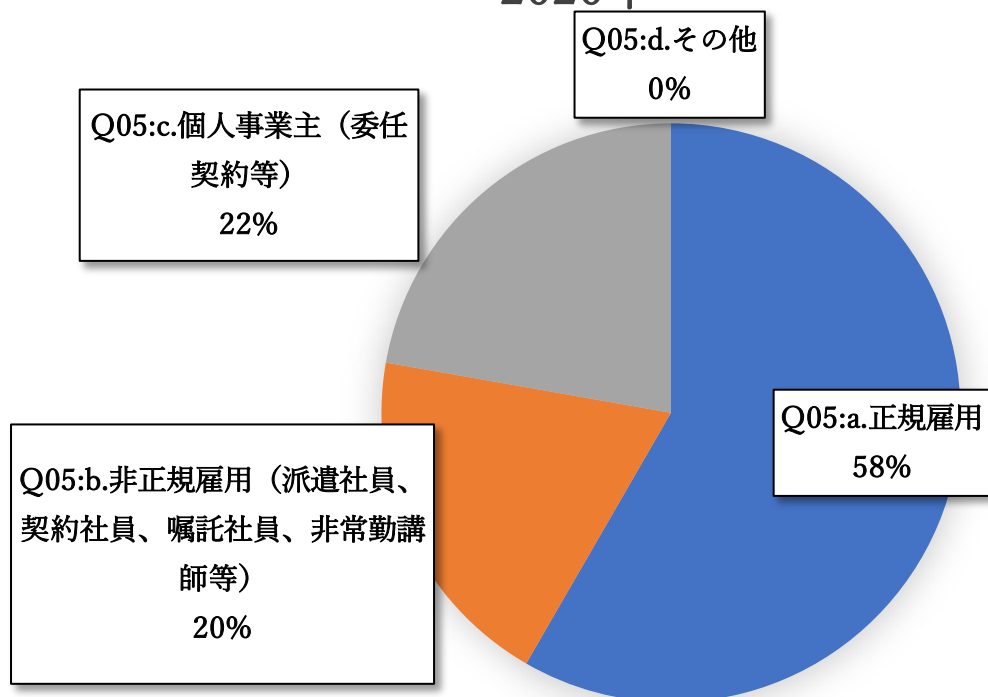
2015年



【4で就職（i～q）を選択した方のみ】

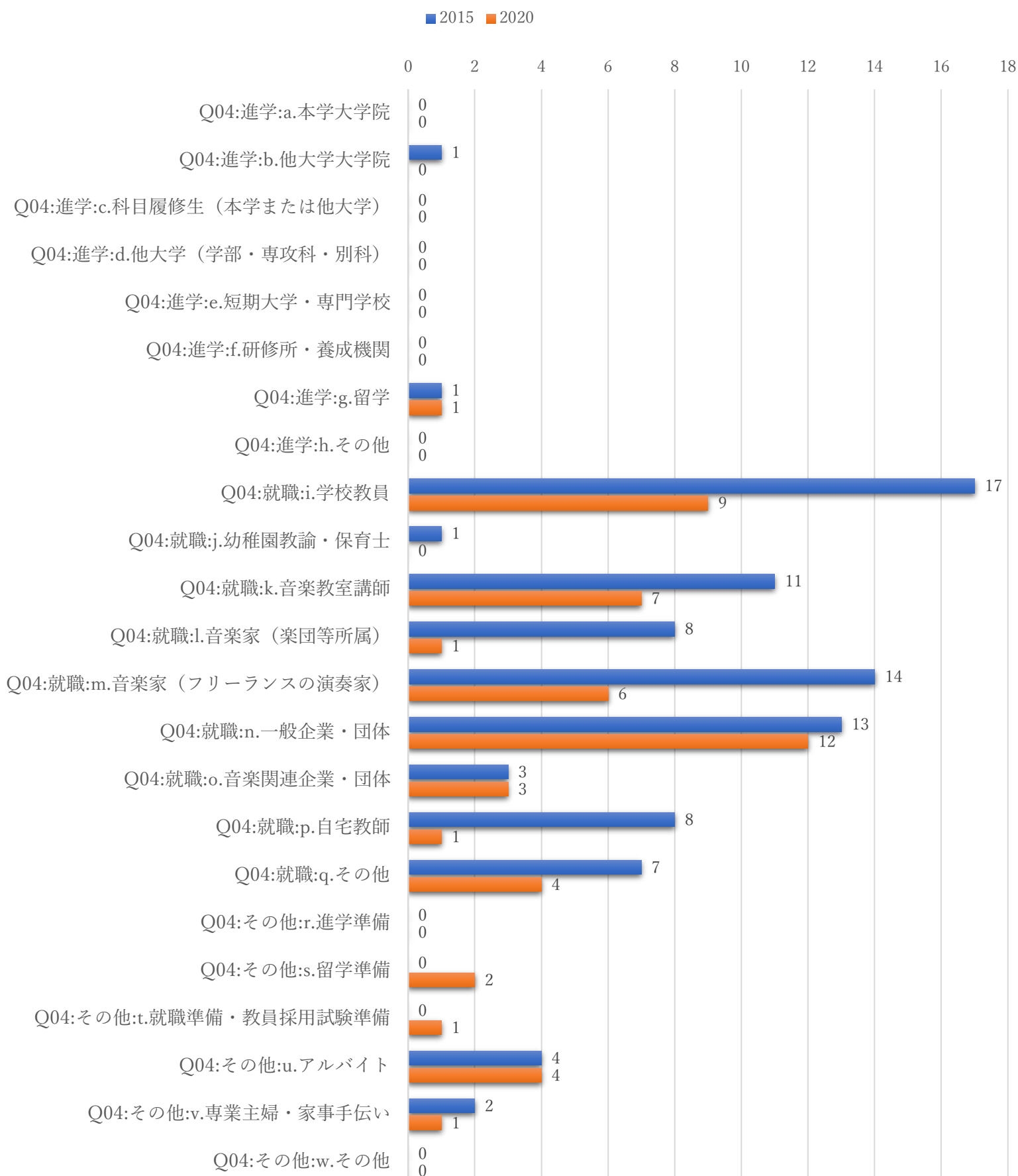
現在の状況として当てはまるものをお知らせください。
（雇用形態）（4でi～qを複数回答した場合のみ複数回答可）

2020年



4. 【必須】現在の状況を選択してください。(1つに絞り切れない場合は、a~wの中で複数回答可)

4. 【必須】現在の状況を選択してください。 (1つに絞り切れない場合は、a~wの中で複数回答可)

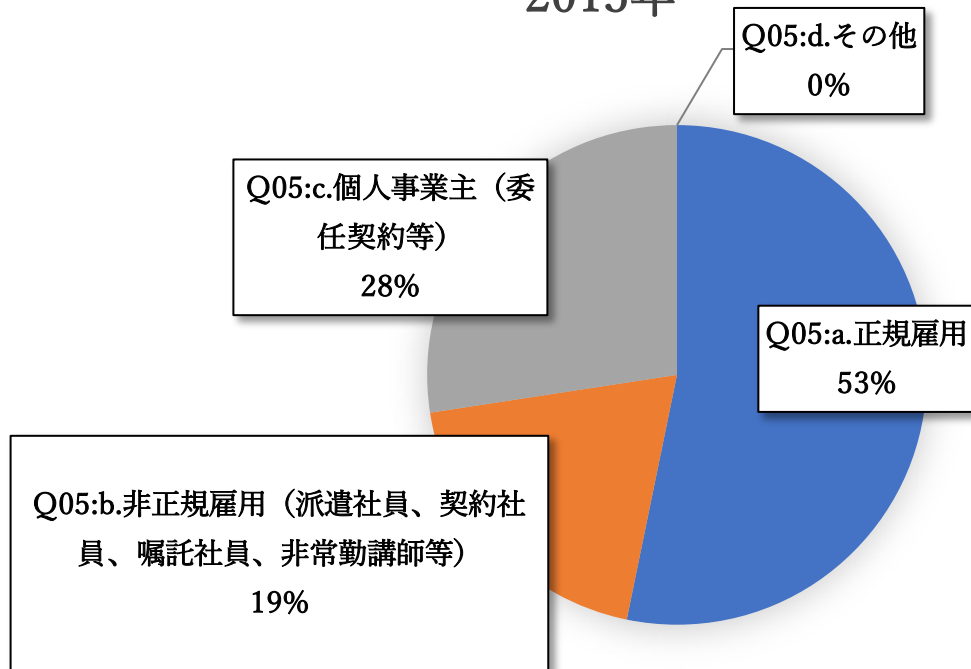


5. 【4で就職（i～q）を選択した方のみ】現在の状況として当てはまるものをお知らせください。（雇用形態）（4でi～qを複数回答した場合のみ複数回答可）

【4で就職（i～q）を選択した方のみ】

現在の状況として当てはまるものをお知らせください。
（雇用形態）（4でi～qを複数回答した場合のみ複数回答可）

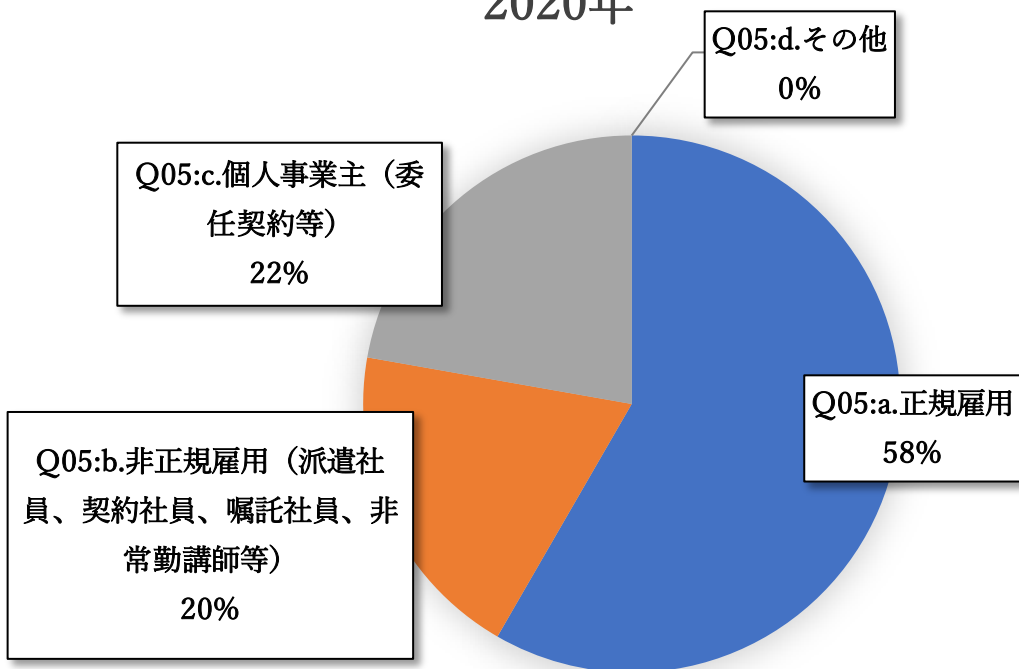
2015年



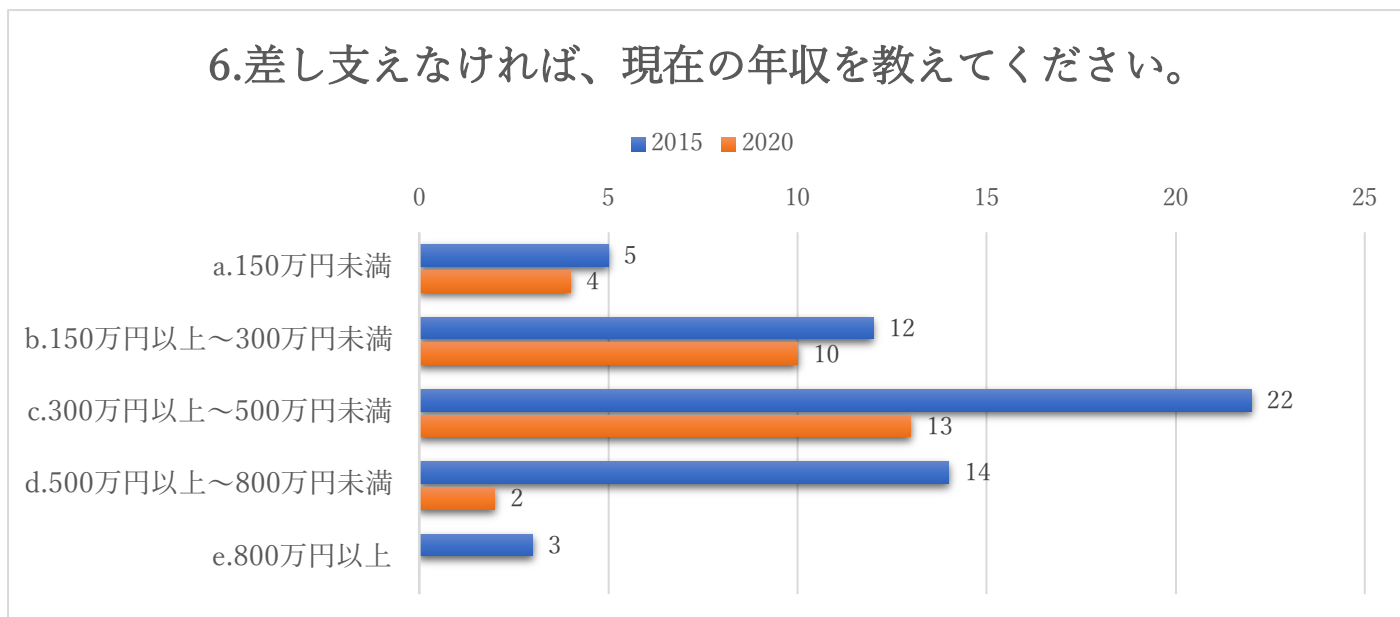
【4で就職（i～q）を選択した方のみ】

現在の状況として当てはまるものをお知らせください。
（雇用形態）（4でi～qを複数回答した場合のみ複数回答可）

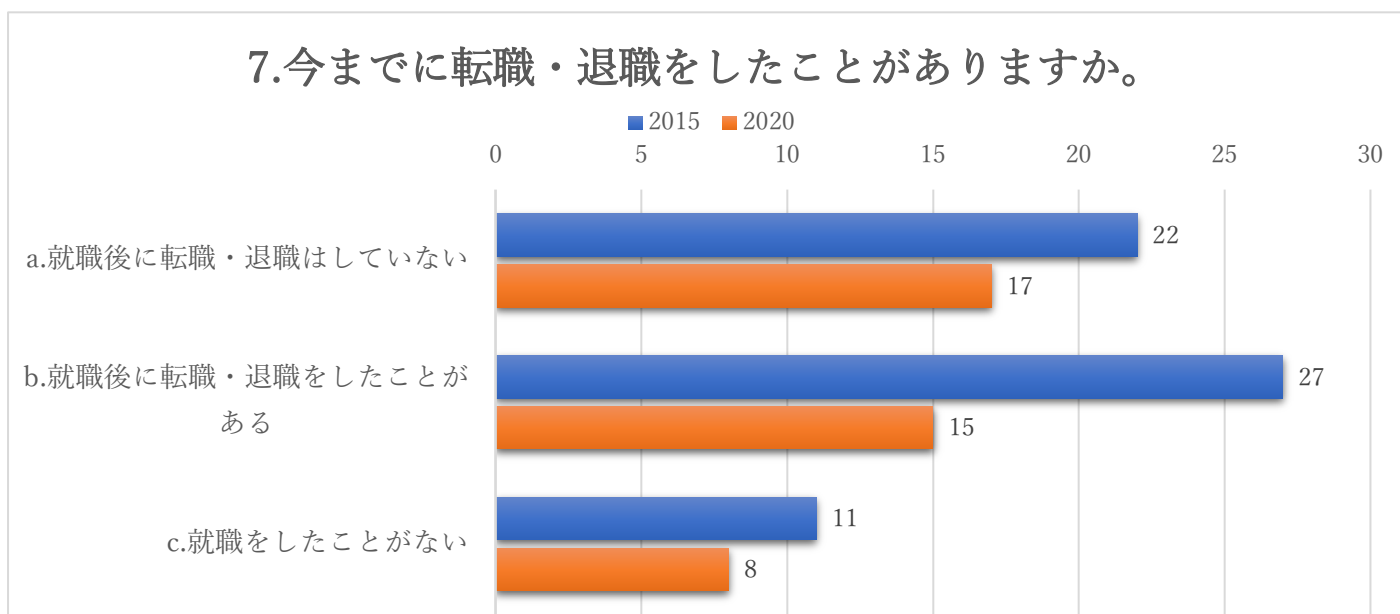
2020年



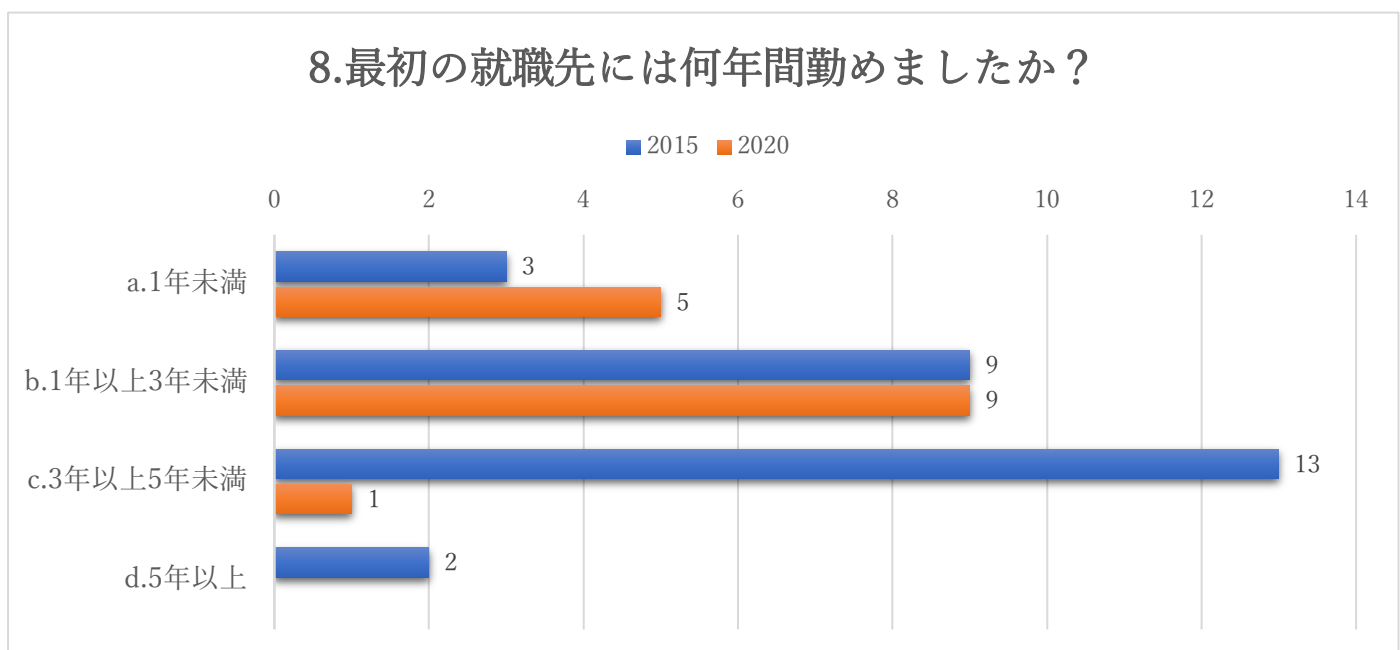
6.差し支えなければ、現在の年収を教えてください。



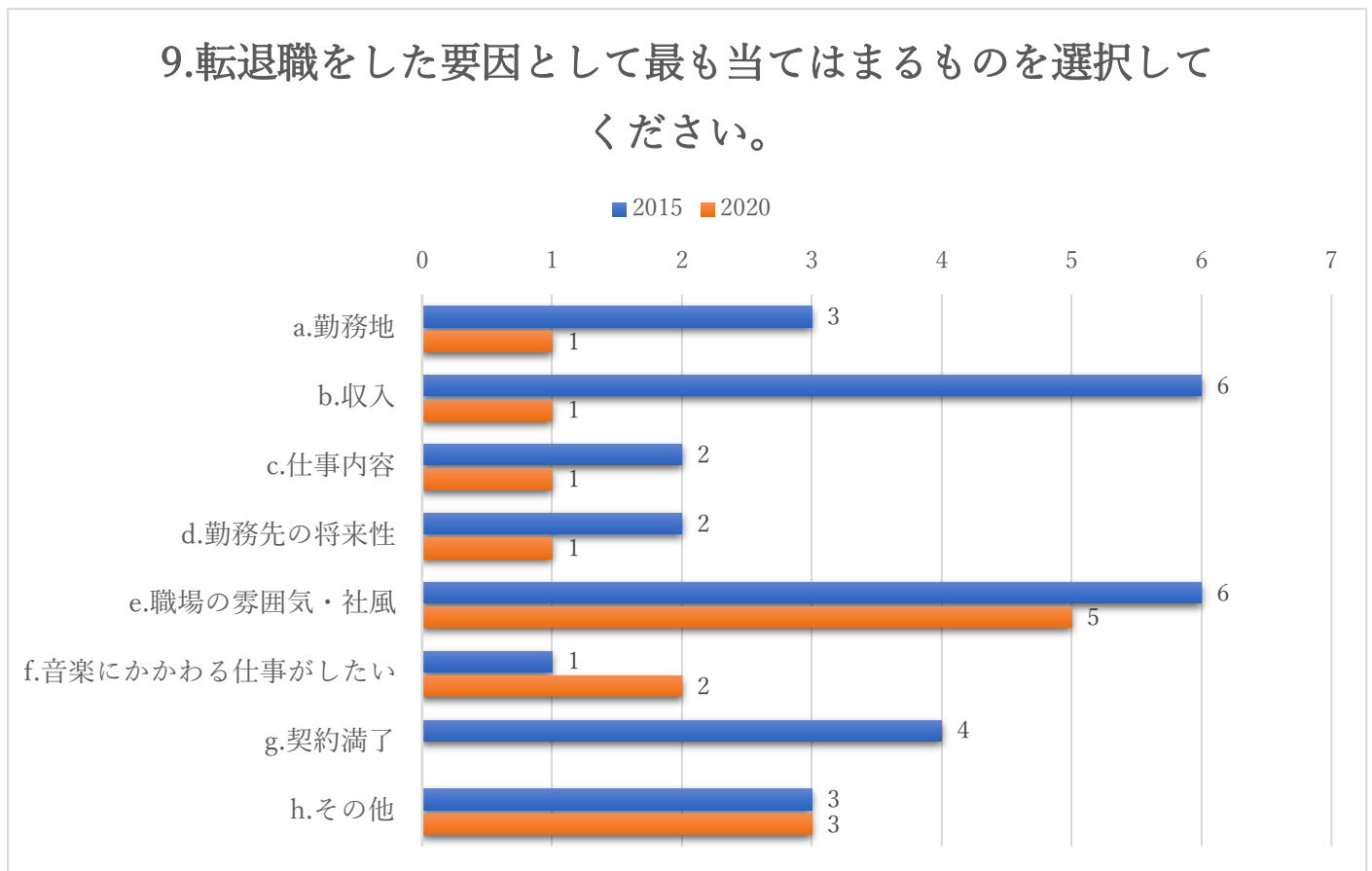
7.今までに転職・退職をしたことがありますか。



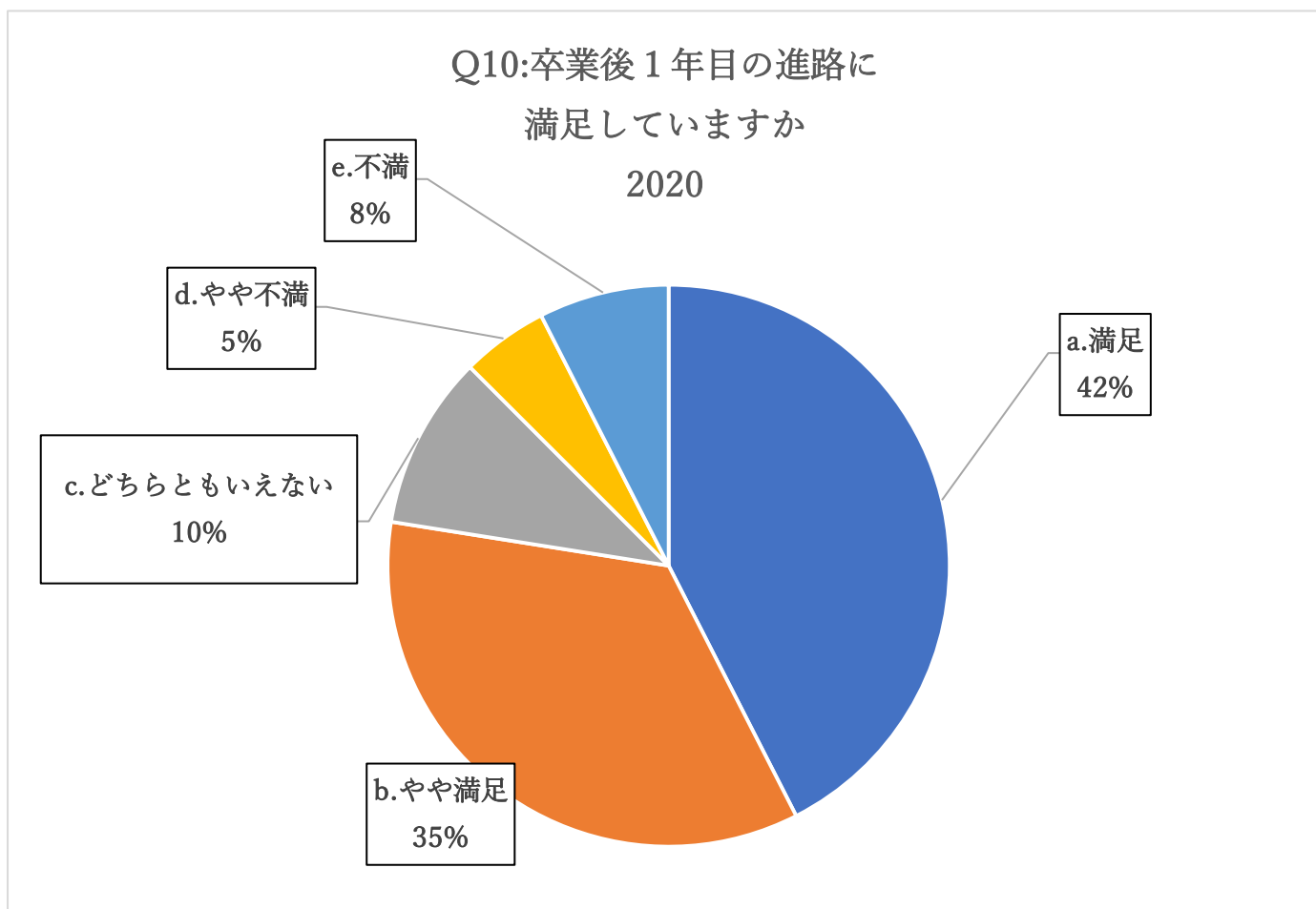
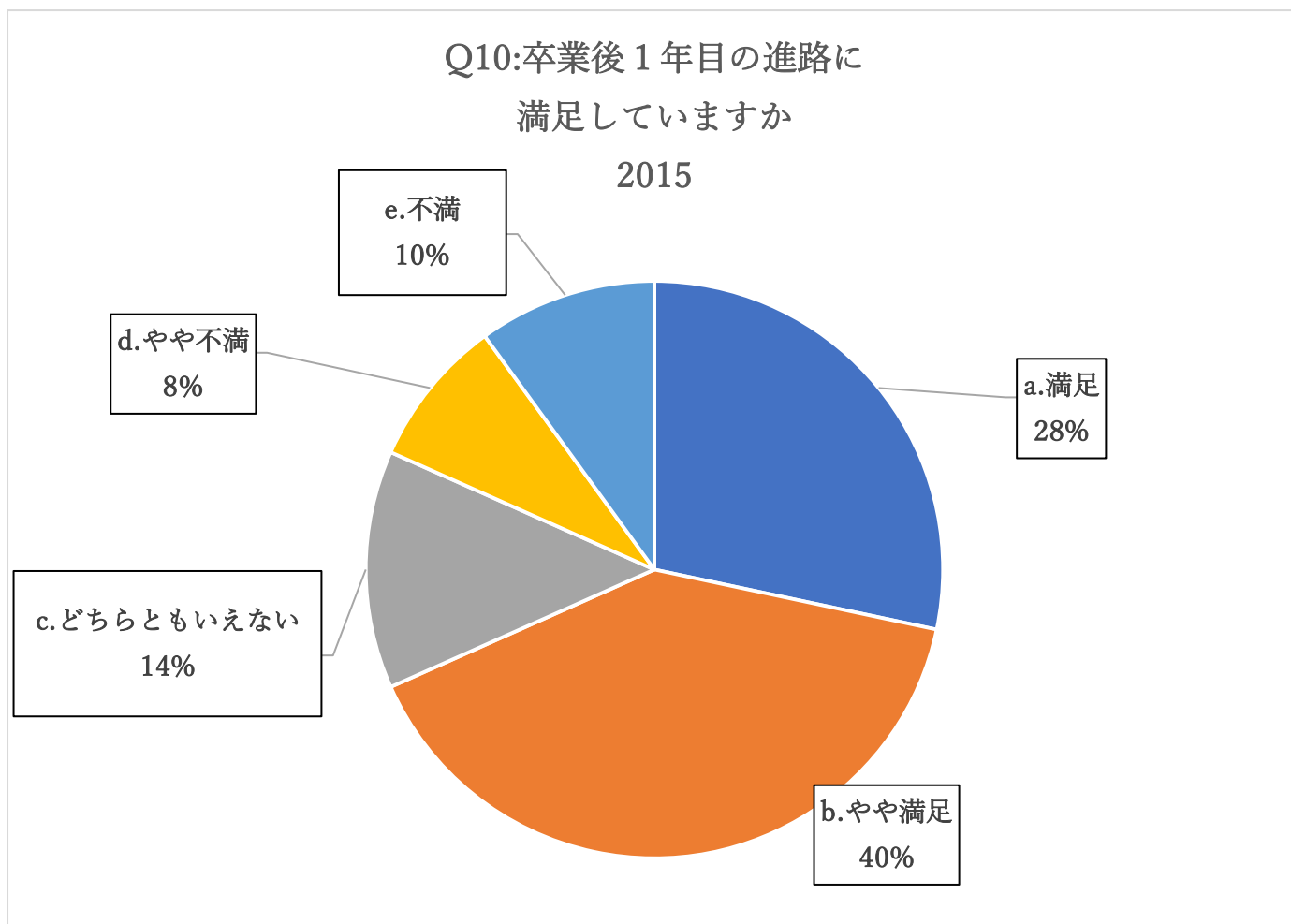
8.最初の就職先には何年間勤めましたか。



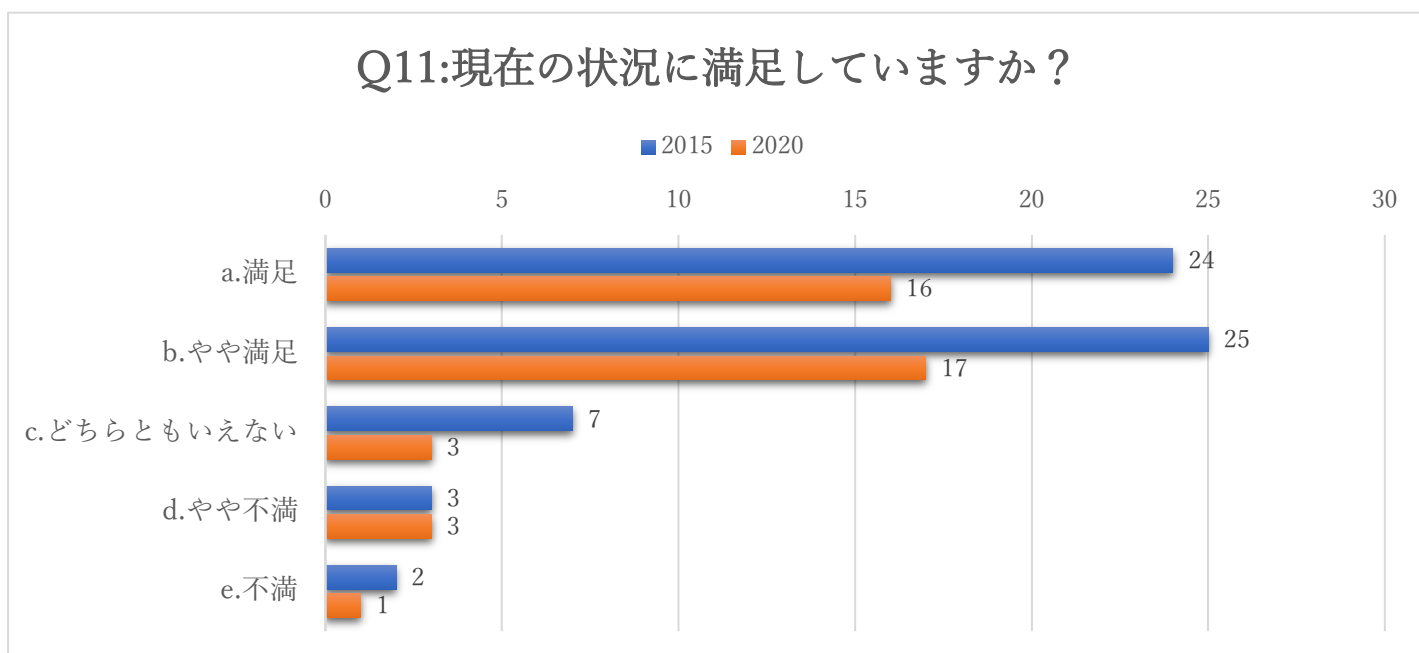
9. 転退職をした要因として最も当てはまるものを選択してください。



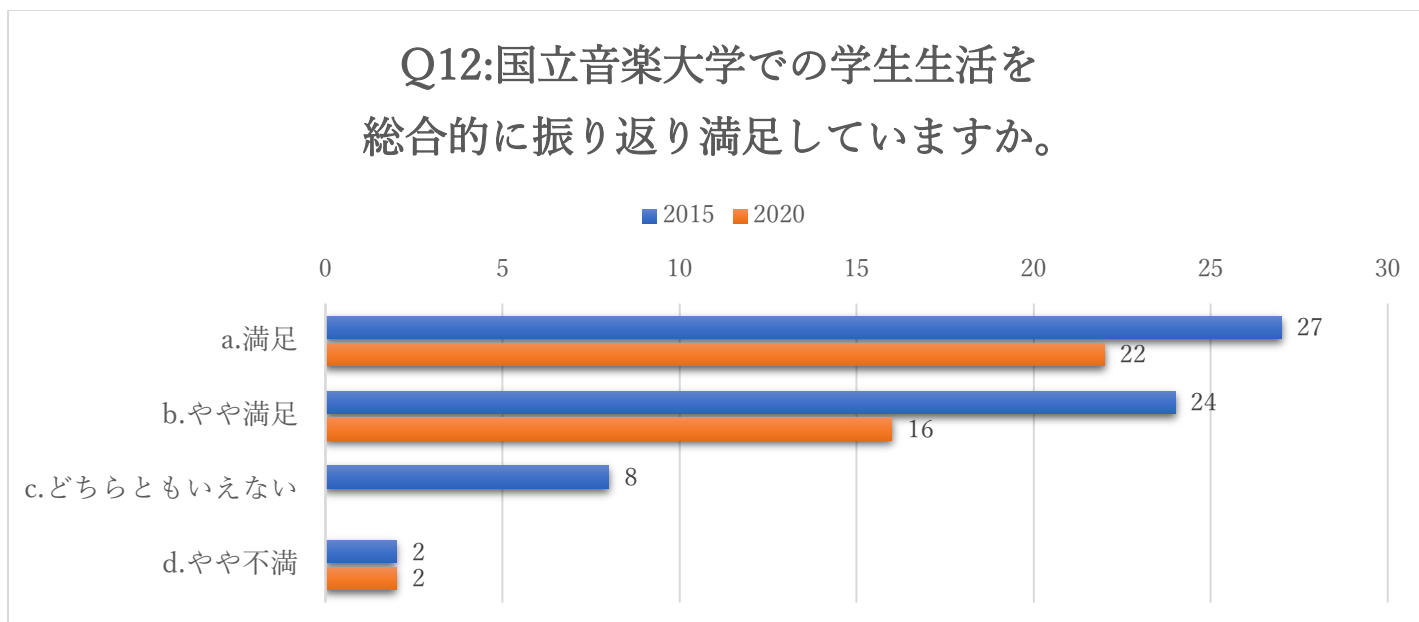
10.卒業後1年目の進路に満足していますか。



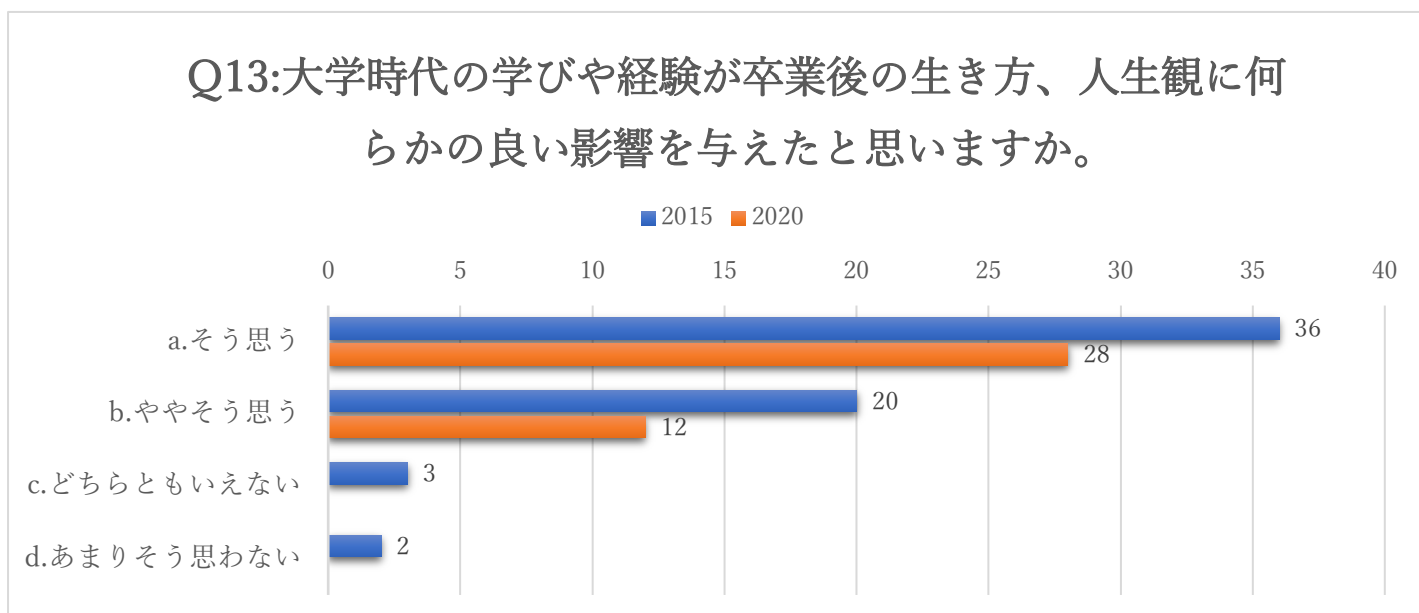
11.現在の状況に満足していますか。



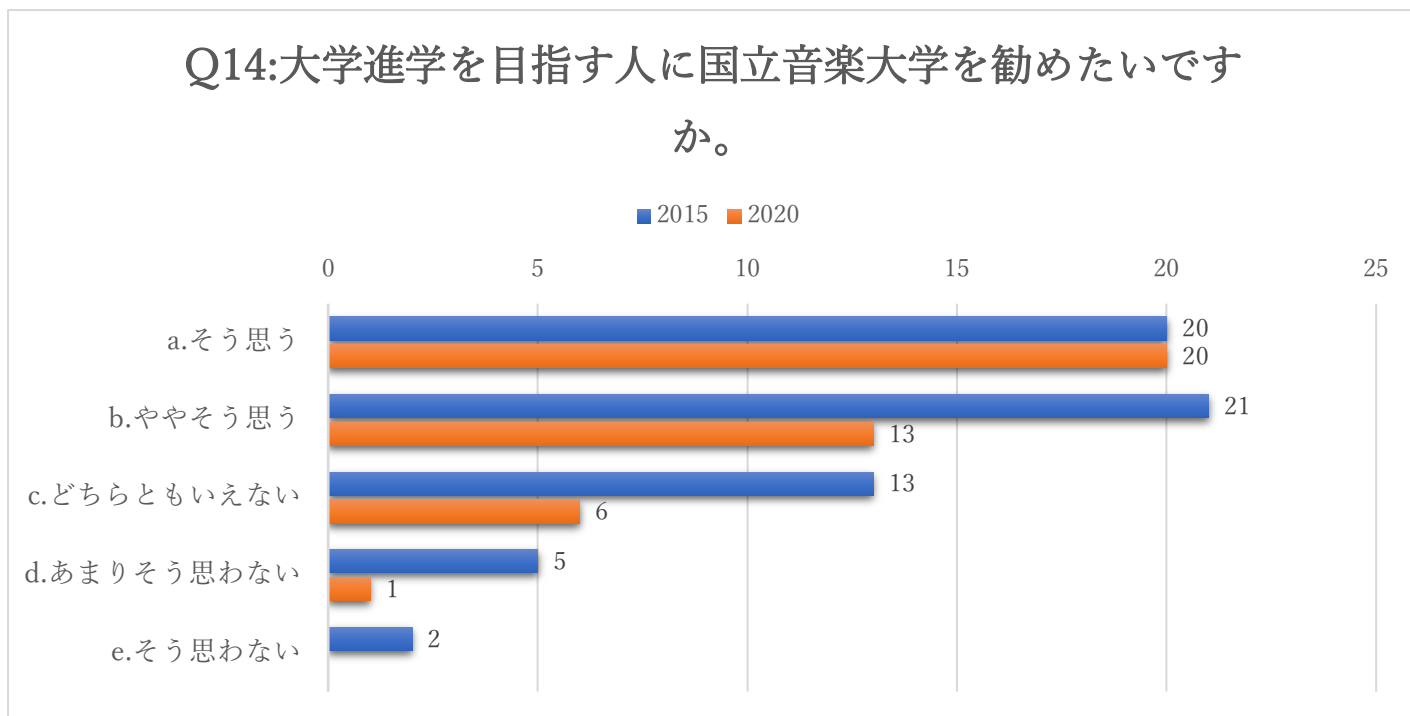
12.国立音楽大学での学生生活を総合的に振り返り満足していますか。



13.大学時代の学びや経験が卒業後の生き方、人生観に何らかの良い影響を与えたと思いますか。

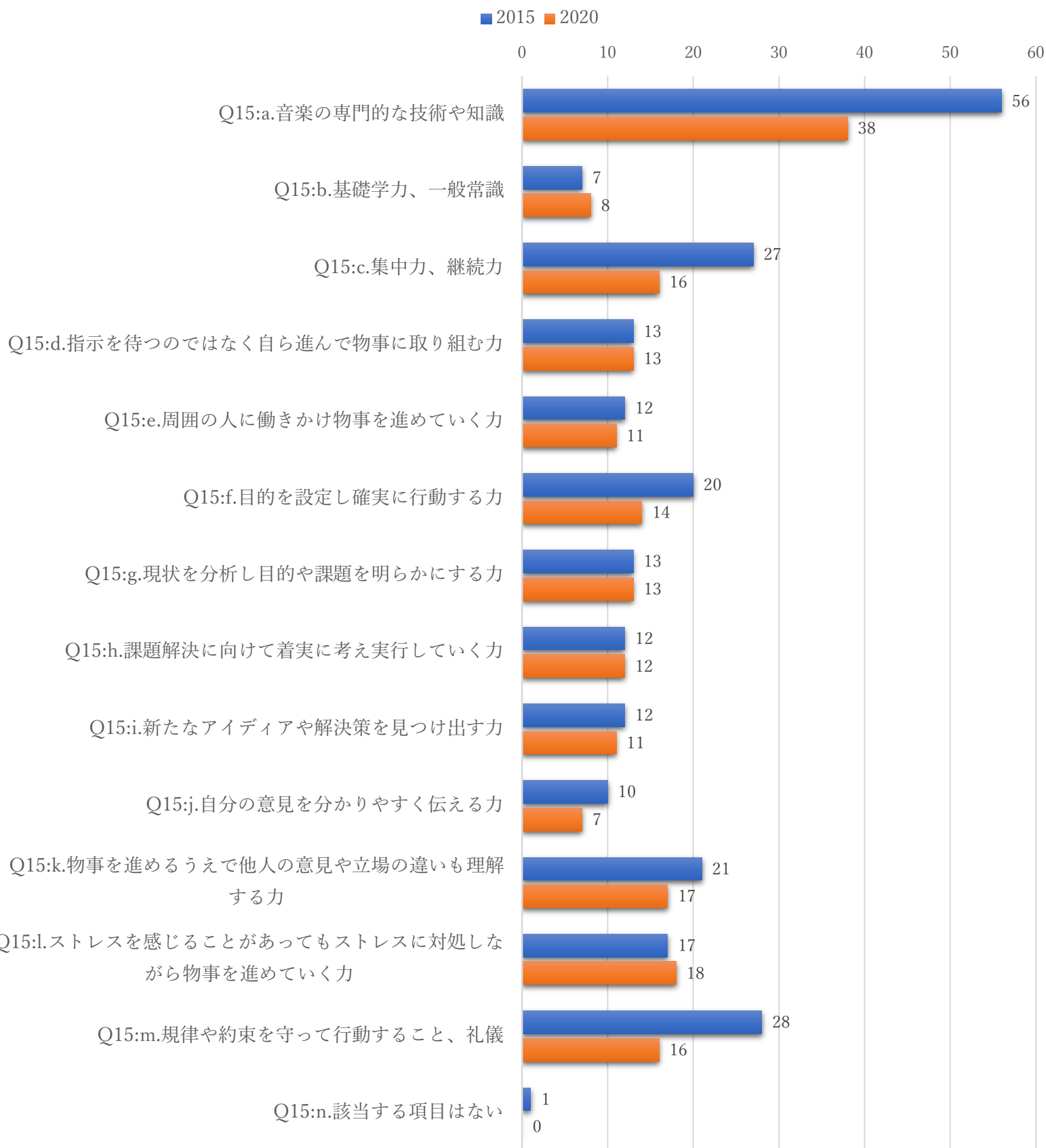


14.大学進学を目指す人に国立音楽大学を勧めたいですか。



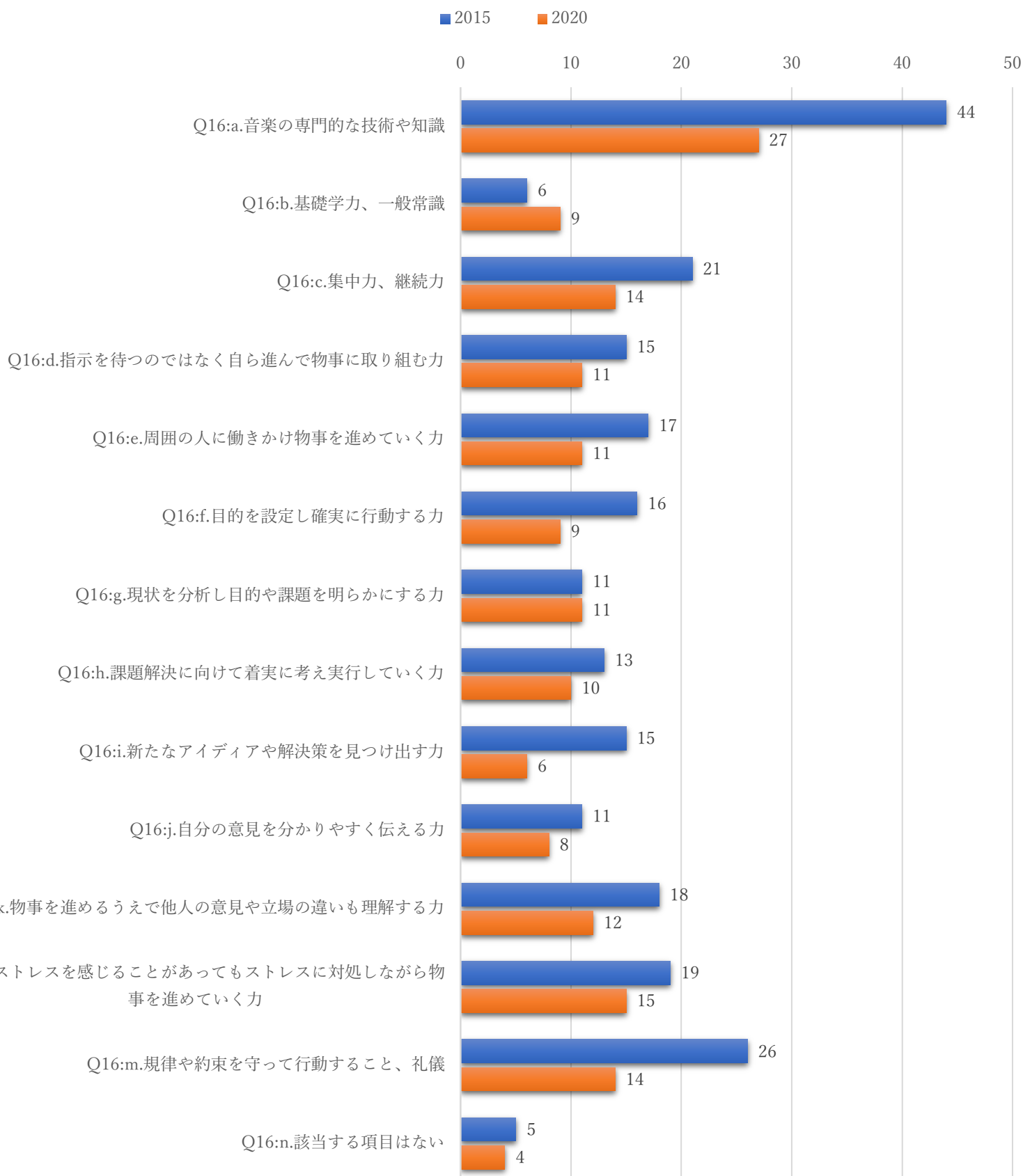
15. 【必須】 国立音楽大学での学びや経験を通して身についたと思う項目をすべて選択してください。
 (複数回答可)

Q15:国立音楽大学での学びや経験を通して身に就いたと思う項目を全て選択してください。



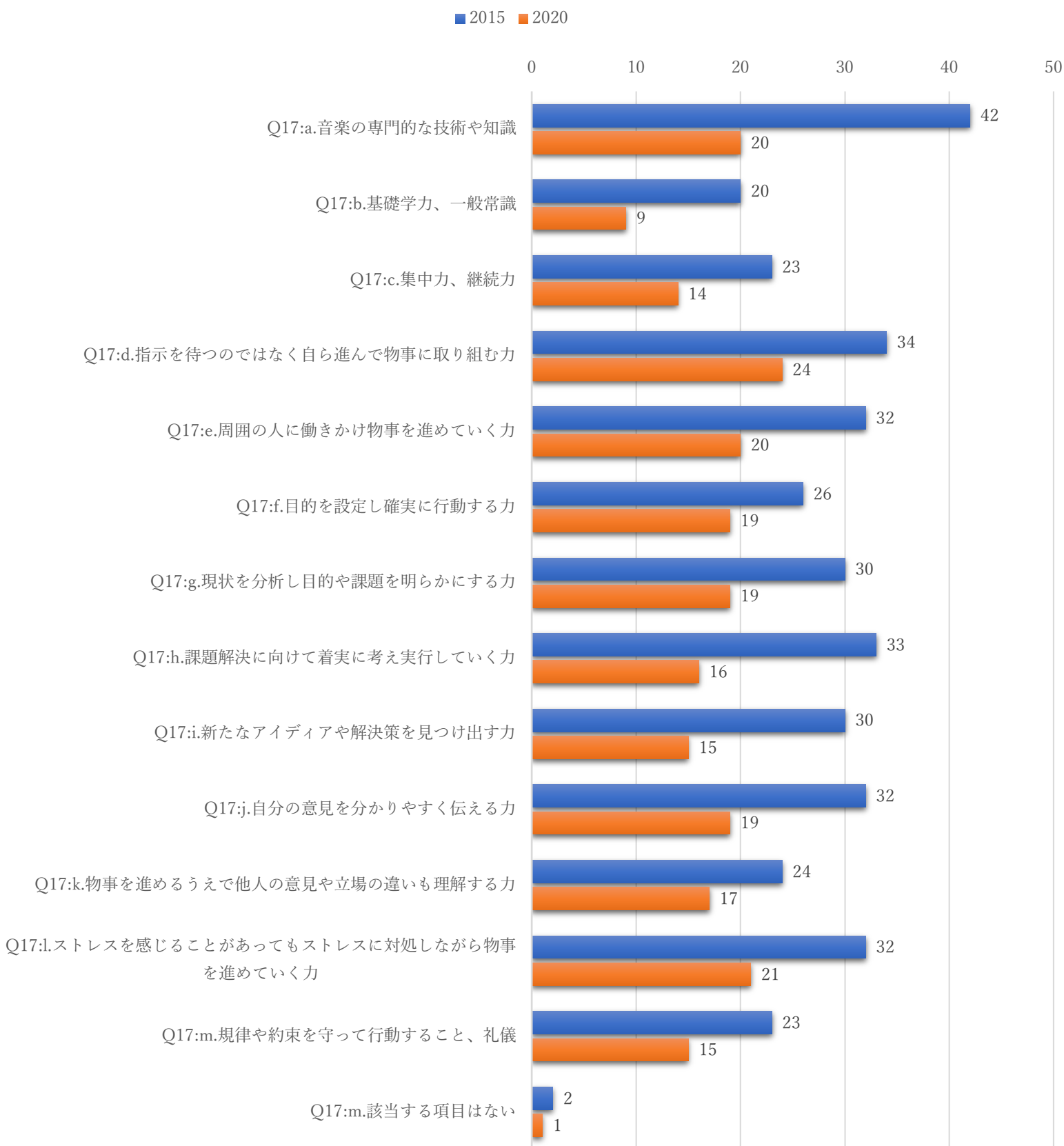
16.【必須】現在の仕事や活動に置いて、国立音楽大学での学びや経験が役に立っていると感じる項目をすべて選択してください。(複数回答可)

Q16:現在の仕事や活動に置いて、国立音楽大学での学びや経験が役に立っていると感じる項目をすべて選択してください。



17. 【必須】現在の仕事や活動において、あなた自身に求められていると思う能力について当てはまるものをお知らせください。(複数回答可)

Q17:現在の仕事や活動において、あなた自身に求められていると思う能力について、あてはまるものをお知らせください。



1. 一般企業就職・就活支援に関する意見（9名）

一般企業への就職を希望する学生に対し、**就職活動の開始時期・進め方・大学の支援内容**について改善を求める声が多く寄せられた。

主な指摘

- 一般企業志望者は早期準備が不可欠である認識が不足している
- 就活講座や大学の支援内容が「古い」「一般大学と比較して弱い」
- SPI・自己分析・企業研究・面接対策などの基礎的就活力の育成が必要
- 音大生が“軽い気持ちで就活する”風潮があり危機感がある
- 一般大学との情報格差が大きい
- キャリアセンター機能の強化を望む声が多い

2. フリーランス実務（税金・確定申告など）に関する意見（6名）

音楽家として活動する上で不可欠な **税務知識・収入管理・確定申告** に関する教育不足が指摘された。

主な指摘

- 税金の仕組みや確定申告の方法を大学で学ぶ必要がある
- 音楽で生計を立てることの難しさを現実的に伝えるべき
- フリーランスとしての収入管理や生活設計の指導が求められる
- 舞台芸術系を含む“個人事業主としての基礎知識”の重要性

3. 教育内容・実践的スキルの強化に関する意見（8名）

音楽専門教育に加え、**社会で活かせる実践的スキルの習得機会を増やしてほしい**という内容が多く見られた。

主な指摘

- プレゼンテーション、資料作成、SNS 運用、Web・動画制作などのスキル
- AI（生成 AI 含む）の活用教育
- 音楽以外の表現手段の獲得
- ミュージカル領域など、新たなニーズに対応した教育内容
- 法律・契約・著作権・個人事業主としての基礎力
- 「音楽＋社会で生きる力」という総合的教育の整備

4. 発表機会・チャンスの公平性に関する意見（5名）

学内の発表機会やレッスン機会の**偏りへの懸念**が複数寄せられた。

主な指摘

- 成績上位者に機会が偏る構造の見直し
- 真剣に取り組む学生全員に発表の機会を提供してほしい
- 学内発表の場が非常に貴重であり、機会拡充を望む声

5. 人間性・人間関係・学習環境に関する意見（4名）

学習環境や人間関係の重要性に関する意見。

主な指摘

- 人間性の重要性（教職志望者からの指摘を含む）

- 人間関係づくりの大切さ
 - のびのび学べる環境の評価
 - 一部教員によるパワハラ的言動への懸念
-

6. 健康・フォーカリストニアに関する意見（1名）

フォーカリストニアに関する詳細な意見が1名から寄せられたが、記述量は多く、内容は深刻である。

主な指摘

- 病気に対する教員の理解不足
 - 症状に応じて片手曲などの柔軟な対応が必要
 - 指導者側の予防教育が不足している
 - 複数専攻に発症する可能性があり体系的対応が求められる
-

7. その他（肯定的意見・応援メッセージ等）（7名）

大学生活や学びの価値を肯定的に捉える意見も多数寄せられた。

主な内容

- 学生時代の学びや仲間との協働経験が社会で役立った
 - のびのびした環境で人格形成につながった
 - 教員免許取得者による大学教育への高評価
 - 在学生への激励メッセージ
 - 大学への感謝の声
-

総括

卒業生の自由記述コメントから、以下の点が特に強く示唆された。

1. 一般企業就職・キャリア教育の強化（9名）
2. フリーランス含む音楽家の実務教育（6名）
3. 社会で活かせる実践スキル教育の拡充（8名）

これらは、音楽大学が直面する“進路多様化”に対応するために不可欠な領域である。

同時に、発表機会の公平性や健康面（フォーカリストニア）など、個別の配慮が必要な声も確認された。